



## 吾あり 人あり 学びあり

「大切なもの」を受け継ぎ、新たな挑戦へ ～自らの可能性を拓く春に～

校長 大井 一雄

1・2年生の皆さんは、本日、令和7年度の全課程を修了しました。担任の先生から手渡された「修了証」は、皆さんが様々な課題と向き合い、努力を積み重ねてきた証です。まずは、この1年間をやり抜いた自分自身を、しっかりと褒めてあげてください。

修了式にあたり、皆さんに感謝を伝えたいことがあります。それは先日の卒業式での姿です。心のこもった合唱「大切なもの」と温かい拍手は、卒業生の胸に深く響きました。皆さんが最高の舞台を整えてくれたおかげで、先輩方は晴れやかな表情で巣立つことができました。このように、中央中学校には、人を思いやる心が伝統として脈々と受け継がれています。

先日、地域の方からも嬉しいお言葉をいただきました。「生徒の皆さんの笑顔で登下校する姿が、何よりの喜びです」と。皆さんの明るい笑顔は、地域に元気を与えています。また、ある卒業生は3年間、給食の配膳員さんに感謝の手紙を送り続けていました。配膳員さんは「その言葉が仕事の励みになった」と深く感動されていました。

本校の校訓「吾あり 人あり 学びあり」が示す通り、互いを尊重し高め合う「温かな学校」は、皆さんのこうした尊い行動の積み重ねで創られているのです。一人一人が楽しく学んで成長できる学校を、これからも自分たちの手で創っていくことを期待しています。

4月から皆さんは新しいステージに立ちます。進級を前にメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の言葉を贈ります。

「できると信じて一步踏み出すこと。それが未来の自分を創る。」

新しい環境には期待とともに不安もあるでしょう。しかし、皆さんには、これまでの努力で築いた確かな土台があります。自信をもって「何を成し遂げたいか」という目標を掲げ、一步踏み出してください。その一步が景色を変え、未来を拓く力となります。新2年生は後輩の目標となる先輩に、新3年生は学校を牽引する最高学年へと大きく羽ばたいてください。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様、1年間本校の教育活動に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。次年度も教職員一同、子どもたちの健やかな成長のために全力を尽くしてまいります。引き続きお力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。

## 送別句間「花束」

卒業生装飾



在校生装飾

